

## 令和3年度政務活動のあらまし

品川区議会自民党  
幹事長 石田 秀男

品川区議会自民党は、8名でスタートし、途中1名が加わり、9名で組織をして本年度も様々な活動を行いました。

新型コロナウイルス感染症により一年延期開催となった東京オリンピック・パラリンピックは感染症対策を行いながら開催されたものの、当初の予定よりも観客を大幅に減らし、イベントも中止するなど、品川区で予算編成していた多くの行事を行うことができませんでした。また令和2年度に引き続き、緊急事態宣言の発令などにより地域や学校においてもほとんどの行事が中止となりました。

一日も早い新型コロナウイルスの終息を願うとともに、毎年行っている各種団体とのヒアリングを令和3年度は9月2日～7日の日程で、49団体の皆様からご意見ご要望を頂きました。(コロナ禍でしたので38団体は書面、11団体は感染症対策を講じて会議室で行いました。)

その後、政務調査会の検討の結果、9月に87項目に亘る「令和4年度予算へ向けた政策要望」の取りまとめを行い、濱野健区長に提出いたしました。令和4年度予算におきましても、我が会派から要望した内容が数多く取り上げられ実現しています。

我が会派がコロナ禍で実現した主な内容は、区役所内のPCR検査センター継続運営、自宅療養者への保存食等の配送、要介護者・障害者のワクチン接種会場移動費支援、テレワーク推進サポート、中小企業に対する特別助成(上限20万円)、融資あっせん緊急資金(限度額1000万円)、区内共通プレミアム商品券の発行(春10%、秋20%・キャッシュレス決済30%)、低所得の子育て世帯への特別給付金(児童1人一律5万円)、私立幼稚園、保育園へのコロナ対策強化(1施設あたり30～50万円)などです。

広報活動として、区政の最新状況を伝えるべく「品川区議会自民党広報誌」を年4回発行し、区民の皆様へ情報をお届けしております。区内各種団体の皆様には定期的に広報誌送付を行っております。品川区議会定例会の最終日には、会派の議員全員で定例会の内容を含め区政報告を大井町駅前にて行っております。

今後も地域に密着し、区民の皆様にご理解、ご支援いただける活動を行っていくことをお約束し「政務活動のあらまし」の報告とさせていただきます。